

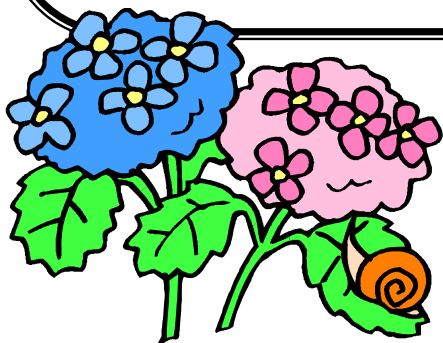
# 「じんけん」ぽん

〈2007年 6月 第38号〉



住所：〒277-0005 柏市柏5-2-17 電話 04-7165-8707 FAX 04-7165-8709

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/ai-net/> メールアドレス [bch13362@nifty.com](mailto:bch13362@nifty.com)



## 特集 多重債務問題を考える!!

～ 多重債務問題研究会 ～

地域を歩く 地域生活支援センター「まほろば」(流山市)

※ 特別支援学校特別支援コーディネーター連絡協議会に参加して



特集

## 多重債務問題を考える!!



### <<多重債務問題とは>>

多重債務とは、複数の借入先から返済能力を超えて借金をしている状態をいいます。今ある借金を返すために、他の金融機関から借金を繰り返すことにより借金が増え続け返済が困難になった多重債務者は、他の面でも困窮していくため、夜逃げや自殺に追い込まれることも少なくありません。現在、多重債務状態に陥っているのは200万人超に上ると言われ、内閣では多重債務者対策本部を設け有識者会議を行い、意見の取りまとめがされています(4月9日)。それによると、

1. 丁寧に事情を聞いてアドバイスを行う相談窓口の整備・強化
2. 借りられなくなった人に対する顔の見えるセーフティネット貸付の提供
3. 多重債務者発生予防のための金融経済教育の強化
4. ヤミ金の撲滅に向けた取締りの強化
5. 上記以外の取り組み



があげられています。

### <<あいネットへも>> 本人、あるいは他機関から、多重債務を抱えている方の相談がきます。

そしてその背景には、病気のためやむを得ず借金を重ねている、障害のために自覚少なく複数から借金を繰り返す、仕事にも就けない、家賃等も滞納しているなど、二重三重の生活困難が見えます。多重債務そのものは最終的には、何らかの債務整理を専門職の方をお願いすることで解決することになりますが、その他の困難も同時に方策が必要であり、繰り返さないための相談が欠かせないものです。

あいネットで行うのは整理に行き着くまでの相談とそれ以降の生活の建て直しに関することとなりますが、その部分をもっと充実できないかと考え、千葉ですでに発足している「多重債務問題研究会」をこの地域で立ち上げることを検討しています。

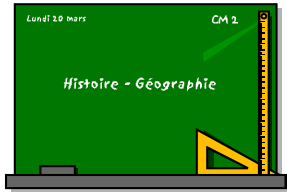
金融に知識のある方はもちろん、知識はなくても関心のある方、ご一緒に活動しませんか？  
(詳しくはあいネットまでお問い合わせ下さい。)





# 平成19年度特別支援学校特別支援コーディネーター連絡協議会 平成19年度第4回巡回指導職員連絡会

平成19年5月8日(火)13:15~16:30 場所:千葉県総合教育センター 稲毛庁舎



参加内容 ① 中核地域生活支援センターの地域総合コーディネーターの紹介  
② グループ別協議及び報告Ⅱ  
『コーディネーターの取組と課題等について』

## ① 中核地域生活支援センターの地域総合コーディネーターの紹介

市川圏域を除く、13 圏域の地域総合コーディネーター（あいネットは今後の特別支援学校との関わりを考慮し、在宅障がい児者コーディネーターが出席）と、県内特別支援学校の特別支援コーディネーターとの顔合わせがありました。

## ② グループ別協議及び報告Ⅱ 『コーディネーターの取組と課題等について』

各地域別に分かれてのグループ討議。私の参加したグループは…

中核地域生活支援センター	特別支援学校	巡回指導職員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほっとねっと(松戸)</li> <li>・あいネット(柏)</li> <li>・のだネット(野田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松戸特別支援学校</li> <li>・つくし特別支援学校</li> <li>・柏特別支援学校</li> <li>・流山高等学園</li> <li>・我孫子特別支援学校</li> <li>・野田特別支援学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東葛飾教育事務所(2名)</li> </ul>

※ 事前に協議資料として提出をしていた「センターの取組と課題」を各中核センターから発表をして、話し合いが行われました。

「あいネット」からは、

- ・支援をしていて、生徒さんの担任の先生、特別支援コーディネーターの先生…教頭先生など、支援についての思いや方法の違いに迷うことがある。
- ・また、文面上「役割分担」「連携」ということを主眼にしている。と記しているが、困ったときだけでなく、先生方や生徒さんともっと顔見知りになり、サポートをしたいと発言をしました。

他の中核センターからは、

- ・制度につなぐまでの支援
- ・制度を利用できないときの支援…そこからはじまる体制づくり
- ・「教育」「療育」「生活」のつながり

などの意見がありました。



喫煙所で…自宅が近所だと分かった先生から「飲み行こうね」。人と人のつながりで、地域を支えていくんだよね。とおっしゃられていた言葉が印象的でした。



地域を歩く

## 社会福祉法人まほろばの里 「地域生活支援センターまほろば」

# 地域生活支援センター まほろば

〒270-0135

流山市野々下1丁目319

TEL 04(7142)8552

FAX 04(7147)8260

### ■日中一時支援事業

対象者	1. 小学生以上で医療行為を必要としない方（内容は個別に相談） 2. 流山市、柏市、野田市、松戸市で片道30分圏内の方（その他、要相談）
利用日	毎日（12/31～1/3を除く）事業所都合により休業日あり。
利用時間	平日（施設・学校開所日） 学校・施設終了～19:30（送迎車19:00出発） 休日（施設・学校休み） 9:30～15:30 （送迎車15:00出発）
定員	平日、日曜祝日は8名、土曜日は一日25名。
サービス内容	法人内施設を利用した預かり・見守り・送迎。希望者に食事提供

### ■短期入所事業

対象者	小学生以上で医療行為を必要としない方（内容は個別に相談）
利用日	1. 毎日（12/31～1/3を除く）レスパイト・体験利用は（月）～（金） 2. 緊急時（ご家族の病気・急な弔事など）利用は365日受付。
利用時間	平日（施設・学校開所日） 学校・施設終了～翌日の開始まで 休日（施設・学校休み） 午前9:30～翌朝9:30を一泊として対応。
定員	8名（原則は男女各4名）
サービス内容	コスモス2Fを利用した宿泊に伴う日常生活支援・介助・送迎。

### ■施設長の小松さんより

皆様の地域生活が充実するよう、また、ご家族の支援を目指して事業を実施していきます  
ご見学、事業説明、随時お受けします。小松までご連絡下さい。



## genbaから



この前、利用者さんが働いている仕事場に同行してきました。こちらは、ここで継続的に働けるだろうって、医師も単純作業なら大丈夫といていたしと…実際行ったら、会社側は「単純作業といっても…難しいんですよ」と。一度見ていただければと、見学してきました。最初はそんな時間の無駄かなと思っていましたが、見ると聞くとは違うなと思いました。

流れ作業で淡々と休み無く、機械に合わせ作業をし、しかも何工程もあり、ローテーションでまわして行くというものでした。「うーん、利用者さんは状態悪い中で、やれていたのだろうか」と思いました。そのとき勉強になったのは、事実確認って必要だと思いました。わかっていなかったのは自分だったなと反省しました。



「地域生活支援センターまほろば」

## eyeねっと



九州…大分県日田市で先日「日田川開き観光祭」が行われました。日本一？早い花火大会が、最大のイベント。盆地での花火大会は「ど〜ん」という音がお腹に響きます。こんなときでも、眠くなると寝る息子に感心しました。

# information(おしらせ)

## ■精神障害者を地域で支援する学習会 ～就労の支援について、学びましょう～

日 時：平成19年6月21日(木) 19:00～20:30

場 所：柏市中央公民館(柏市柏5-8-12)4階 集会室1

費 用：参加費 500円 内容：就労シリーズ② 就労の訓練中に気をつけること

講 師：社会福祉法人JHC板橋会 障害者就労・生活支援センター

ワーキング・トライ センター長 八木原律子氏

主 催：NPO法人権利擁護あさひ 精神障害者共同作業所ピアセンターあかり(橋本)

電話(FAX)：04(7147)0395



## ■第52回発達障害者サポーター研修会(柏市発達障害者支援協議会)

日 時：平成19年6月27日(水) 19:00～21:00

場 所：柏市健康管理センター2階会議室

費 用：無料

内 容：前段 「園・学校生活での支援の工夫(仮題)」

田熊 立氏(千葉県発達障害者支援センターCAS)

後段 フロアを交えた事例検討(公開相談)・意見交換

主 催：特定非営利活動法人自閉症サポートセンター



## ■虐待から子どもを守る支援ネットワーク・ちば 第3回講演会

～少年院矯正教育現場での新たな挑戦～

虐待を受けた子、発達に困難をかかえた子への理解と支援

日 時：平成19年7月28日(土) 13:00～17:00

場 所：千葉県労働者福祉センター大ホール 参加費：3,000円

内 容：講演 「少年院での特別支援教育の実践」 向井義氏(瀬戸少年院教育調査官)

シンポジウム 「不適切な養育を受け、発達に偏りのある少年を地域でどう支援するべきか」

申し込み・問い合わせ：虐待から子どもを守る支援ネットワーク・ちば事務局

FAX 050-1559-8906 メール [capnet@ybb.ne.jp](mailto:capnet@ybb.ne.jp)

締切り 7月14日(土)



## ■第1回 リハビリテーション公開講座

「彼らを守るのは誰だ!?!」～地域で暮らすことを改めて考えよう～

日 時：平成19年7月8日(日) 14:00～16:00(13:30開場、受付)

場 所：帝京平成大学専門学校(千葉市美浜区中瀬1-3 幕張リカ デソE棟)

費 用：無料

内 容：講演 「病院におけるリハビリテーション医学～急性期から回復期まで～」

千葉県千葉リハビリテーションセンター長 吉永勝訓先生

シンポジウム 「リハビリテーションでできること～各専門職から～」

個別相談会、機器展示等

問い合わせ先：理学療法士会事務所

FAX 043-242-6203(FAXのみ)

(編集後記)  
千葉県グループホーム等連絡協議会の広報紙「地域を創る」の編集作業が  
終わり…ひと安心です。(S)インフォ  
メーション募集中です。(A)